

4 下の問いに答えよ。(100点)

学習指導要領 (3) - 知・技 - ウ  
 学習指導要領 (4) - 知・技 - イ  
 学習内容 (3) - ウ モデル化とシミュレーション  
 学習内容 (4) - イ データベースの仕組みと活用

問 1 表計算ソフトに付属しているプログラム言語を利用して、図1のプログラム Macro 1 を、  
 次のページの図2の表計算ソフトのシートに対して実行した結果を答えよ。

学習指導要領 (3) - 知・技 - イ  
 学習指導要領 (3) - 思・判・表 - イ  
 学習内容 (3) - イ アルゴリズムとプログラム

問 2 図2のA列の商品の種類数が0～8の間で変化する場合にも対応できるように Macro 1  
 を改良せよ。改良は、「Macro 1 の□行目の次に次の□行を追加する。」の形で行え。次の  
 ページの図3に想定されるいくつかの例を示す。ただし、数量は同ページの図2と同じ値  
 を設定する。

```

1 Sub Macro 1( )
2   Dim sum As Integer, i As Integer
3   sum = 0
4   For i = 2 To 9
5       Cells(12, 6).Value = Cells(i, 1).Value
6       単価調べ
7       Cells(i, 2).Value = Cells(12, 7).Value
8       Cells(i, 4).Value = Cells(i, 2).Value * Cells(i, 3).Value
9       sum = sum + Cells(i, 4).Value
10  Next i
11  Cells(i, 4).Value = sum
12 End Sub


---


13 Sub 単価調べ( )
14   Dim i As Integer
15   For i = 3 To 10
16       If Cells(12, 6).Value = Cells(i, 6).Value Then
17           Cells(12, 7).Value = Cells(i, 7).Value
18           Exit For
19       End If
20   Next i
21 End Sub
  
```

図1

	A	B	C	D	E	F	G
1	商品名	単価	数量	金額		単価表	
2	サンドイッチ		5			商品名	金額
3	りんご		4			サンドイッチ	350
4	みかん		10			あんパン	120
5	とまと		8			りんご	140
6	すいか		1			なし	150
7	なし		6			みかん	80
8	あんパン		12			すいか	980
9	なす		13			とまと	250
10	合計					なす	300
11						作業セル	
12							

図 2

	A
1	商品名
2	合計
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	

	A
1	商品名
2	サンドイッチ
3	合計
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	

	A
1	商品名
2	サンドイッチ
3	りんご
4	みかん
5	とまと
6	すいか
7	なし
8	あんパン
9	合計
10	
11	
12	

図 3